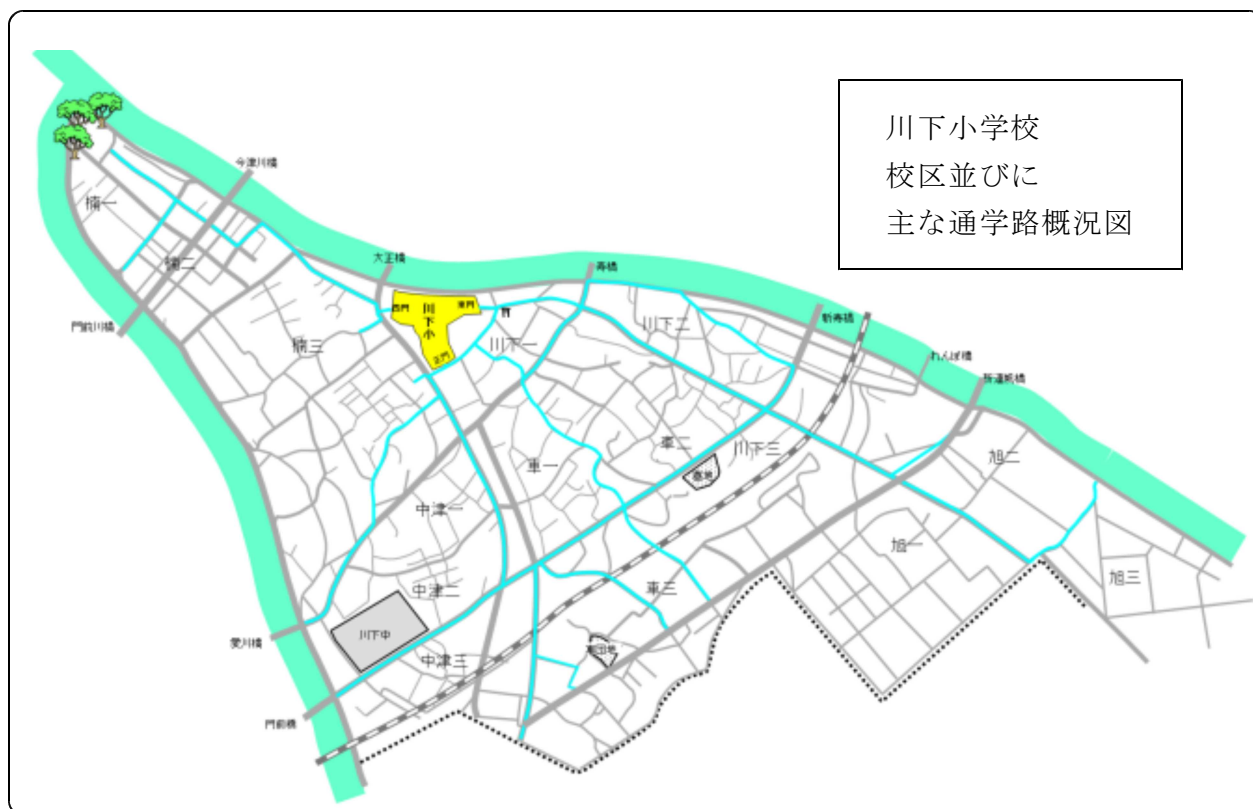


校区の概況



(1) 自然環境

川下地区は、永年に渡る干拓事業によって、現在の広大な地域になった歴史的な事実があるため、先祖伝来の土地に対する愛着心が強い地区です。

また、錦川が分岐し、北側を今津川、南側を門前川が流れ、東側は海に面している三角州の頂点付近に当たるこの地域は、自然環境に恵まれていますが、自然災害等の危険な要素も含んだ土地でもあります。

(2) 社会環境

川下地区の中央部を北から南に国道188号が縦断し、これと並行して市道幹線・JR山陽本線が通っています。交通量が多い上に道幅が狭いため、特に住宅密集地は交通事故の危険性が高いです。平成20年3月には楠町にバイパスが開通し、同地区の住宅街の交通量が飛躍的に増加しました。これらの状況を改善すべく『川下地区まちづくり協議会』を組織し、地域住民の意見等を取り入れながら改善や見直しが行われています。また、平成24年12月には岩国錦帯橋空港が開港しました。

伝統行事や地域の自然を大切にする風土があり、それに伴う行事に子どもたちも積極的に参加しています。地域のまとまりも良く、自治会・商工会・子ども会等の活動が活発であるとともに、学校の教育活動にも協力的です。さらに、米軍基地のある街として、文化的にも国際色豊かで他地域には見られない独特の雰囲気があります。